

まちづくりの目標	4 自然と共生するまち	政策	2 うるおいのあるまちづくり	施策	2 水道水の安定供給	基本事業	1 安全で安心な水道水の供給	事務事業	2 施設整備事業
会計	水道事業会計	目	施設整備費	担当課	上下水道部	水道課			

【稲田浄水場の歴史】

沿革	
S26年11月	厚生省より上水道事業認可
S27年4月	上水道事業を起工
S56年7月	稲田浄水場完成(浄水能力40,000m ³ /日)
H7年4月	十勝中部広域水道企業団より暫定受水
H11年	十勝中部広域水道企業団より本格受水
H17年	劣化・耐震診断実施

【施設概要】 所在地:帯広市稲田町東2線8番地3

浄水能力	40,000m ³ /日	敷地面積	46,148.18m ²
水源	札内川(伏流水)、浅井戸(2基)		
着水井	薬品混和池併用		
沈殿池	横流式沈殿池(傾斜板式)		
ろ過池	急速砂ろ過式8池 ろ過面積3.8m×11.6m		
配水池	9,742m ³ /3池		
薬品注入設備	凝集剤(ホリ塩化アルミニウム)貯留槽6m ³ ×2槽 アルカリ剤(苛性ソーダ)貯留槽25m ³ ×3槽 消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム)貯留槽7m ³ ×2槽		
ポンプ設備	導水P 3台、配水P 3台、南町送水P 2台		
排水処理施設	排水池2池、排泥池1池、排水ポンプ3台、 排泥移送ポンプ3台、汚泥ポンプ2台		
非常用発電機	ディーゼル発電機(1,250KVA)1台		
管理本館	地階:配水ポンプ、第4ポンプ井 1階・2階:事務室、水質検査室、中央監視室		
別棟	浄水棟、第3ポンプ室、発電機室		

【更新事業の目的】

- 稲田浄水場の浄水棟は昭和56年に完成したものであり、現在全体配水量の6割を担っており企業団受水との2水源で補完しあい、市街地の東部エリアを配水区域としている。
- 稲田浄水場の各施設は、水道施設全体のシステムのうえで、特に重要な役割を持つことから、平成17年度に耐震診断及び劣化調査を実施し、これら施設及び各設備の更新を計画的に進め、水道水の「安全・安心・安定的」な供給を図るものです。

- 【更新事業の基本方針】**
- ・ 安全で安心できる施設づくり
 - ・ 災害時の信頼性向上
 - ・ 省エネ型の施設管理
 - ・ 環境にやさしい取り組み

- 建造物の耐震補強等工事は、平成24年度までに完了。
- H27年度より、稲田浄水場の老朽化した各設備機器(電気計装・機械等)の更新工事を実施。
- 屋外受変電設備を屋内設置型とし、2回線方式にて維持管理の向上及び安全性・信頼性の強化を図る。
- 高濁度に対応する薬品注入設備の設置。
- 配水ポンプのインバータ制御(回転数制御)及び電動機を低圧400Vに統一し、省エネ・低コストな効率的な維持管理設備に更新。

【省エネ削減効果】 電力量削減分:569,317kwh/年間
省エネ効果額:約8,700千円/年間 CO2削減量:290t/年間

【事業経過及び計画】 総事業費:約4,715,058千円

機械設備更新(第1期)	246,638 千円	機械設備更新(第2期)	287,879 千円	機械設備更新(第3期)	522,399 千円
電気設備更新(第1期)	1,155,318 千円	電気設備更新(第2期)	443,498 千円	電気設備更新(第3期)	1,008,950 千円

凡例: ●工事 ○設計

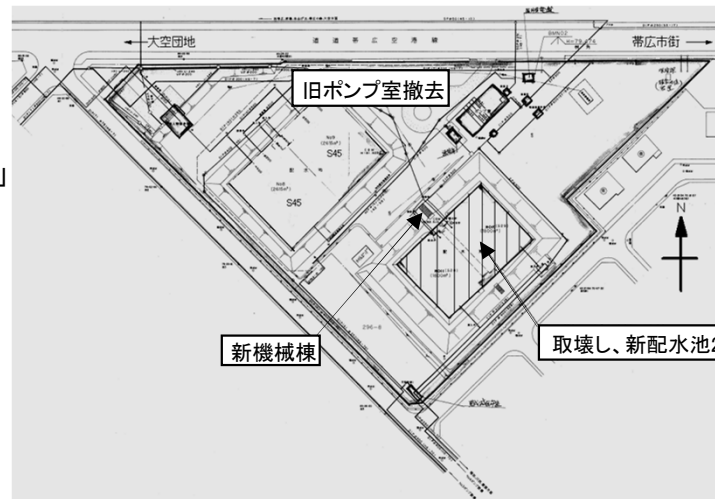
事業費:919,506千円					事業費:3,273,153千円					総事業費:522,399千円
平成17年度	平成19年度	平成20・21年度	平成22~24年度	平成25・26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年~33年度
30,299	20,107	258,761	539,878	70,461	577,568	598,198	700,659	575,398	821,330	522,399
○稲田浄水場劣化・耐震調査実施設計	○浄水棟劣化・耐震実施設計	●浄水棟劣化・耐震補強工事	●No.7配水池劣化・耐震補強等工事 ●No.6配水池劣化・耐震補強等工事 ●No.5配水池劣化・耐震補強等工事 ●管理棟劣化補修等工事 ○新エネルギー導入事業実施設計 ●太陽光発電システム設置 ●導水・送水ポンプ(4台)更新 ●別府TM更新・水位計等更新 ●直流電源装置等更新	●管理棟劣化補修等工事 ●配水ブロック監視装置更新 ○稲田浄水場設備更新工事実施設計 ○排水棟劣化補修等実施設計 ○受変電盤建屋実施設計	●機械設備更新(第1期) 3ヵ年工事 送配水P設備	●電気計装設備更新(第1期) 3ヵ年工事 受変電設備、送配水動力・計装設備、監視制御装置	●電気棟建設・排水棟劣化補修	●電気計装設備(第2期) 2ヵ年工事 導水P動力・計装、ろ過池動力、排水池動力	●機械設備更新(第2期) 2ヵ年工事 薬品注入、ろ過池設備 ●電気計装設備(第3期) 2ヵ年工事 薬注、水質計器、浄水棟設備 自家発電設備、監視制御設備	●機械設備更新(第3期) 沈殿池・排水設備

【南町配水場改築事業】 総事業費:1,254,328千円

「住所」:帯広市南の森西1丁目296番地2

「改築事業の目的」
・南町配水場は、水道施設全体のシステムの中でも、南町、緑ヶ丘、川西、大空に配水する重要な役割を担っている。
・診断の結果、耐震補強工事が必要と診断され、耐震補強・劣化補修とともに機械等の設備機器の更新を実施し、水道水の「安全・安定的」な供給を確保。

「事業計画」
○2,500m³の配水池を2池改築・機械棟(機械・電気設備)の新設。
平成24年度 南町配水場改築工事実施設計・流入弁室機器更新 事業費 46,793千円
平成25~27年度 南町配水場改築工事(3ヵ年工事) 事業費 1,107,735千円
平成27年度 南町配水場外構工事 事業費 99,800千円
「配水池」2池:昭和28年~29年(改築)、2池:昭和45年(継続使用)



【中島配水場整備工事】 総事業費:540,500千円

「住所」:帯広市中島町東4線120番地6

「事業の目的」
地下水の水質的課題及び膜ろ過設備の稼働により浄水能力が減少し、非常時の対応が困難であることから、中島地区の安定給水に向け、企業団からの受水に切り替えるとともに、既存の水源を含めた柔軟な水運用を行う。

「事業の経過」
H23年5月 高濁度発生、浄水運搬作業、
H23年7月 膜ろ過設備導入

「事業計画」
H25~26年度 中島配水場基本計画、実施設計
H27~28年度 中島配水場分水整備工事 事業費 471,750千円

「工事概要」
送水管φ150mm L=4,265m 橋梁添架 330m(H27年度施工)
分水箇所1か所 用地買収 A=250m² 平成28年度末竣工

「今後の計画」
H32~34年度 中島配水場耐震診断・設計・耐震工事 事業費 68,750千円

